

決算説明資料

株式会社 ミマキエンジニアリング

2021年11月10日

UJF-7151 plus II



UJF-6042 MkII e



UJF-3042 MkII e



**Spray-Jetting
DCF-605 PU**



JFX600-2513 NEW
JFX550-2513

TS100-1600



3DUJ-2207



UJV100-160



2022年3月期 連結業績

- ❖ 第2四半期・上期実績
- ❖ 通期予想

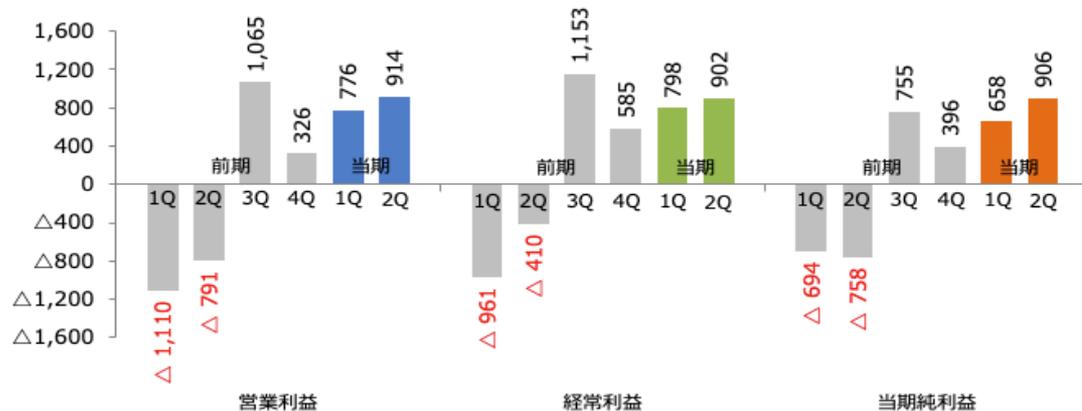
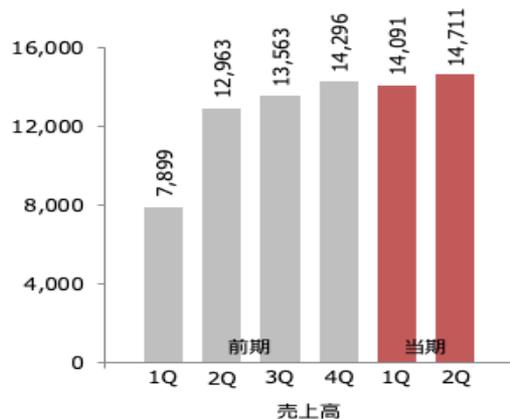
連結業績ハイライト (2022年3月期 2Q・上期実績)



(単位：百万円)		2021年3月期			
		2Q実績	売上高 比率	上期実績	売上高 比率
■ 売上高		12,963	-	20,862	-
■ 営業利益		△ 791	△ 6.1%	△ 1,902	△ 9.1%
■ 経常利益		△ 410	△ 3.2%	△ 1,372	△ 6.6%
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益		△ 758	△ 5.9%	△ 1,453	△ 7.0%
為替レート	米ドル	106.22円	-	106.92円	-
(期中平均)	ユーロ	124.11円	-	121.29円	-

2Q実績		売上高 比率		2022年3月期		前年同期比増減		
						上期実績	売上高 比率	金額
14,711	-	28,803	-	7,941	38.1%	33.4%		
914	6.2%	1,691	5.9%	3,593	-	-		
902	6.1%	1,701	5.9%	3,073	-	-		
906	6.2%	1,564	5.4%	3,018	-	-		
110.11円	-	109.80円	-	2.88円	2.7%	-		
129.83円	-	130.89円	-	9.60円	7.9%	-		

※「収益認識に関する会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は96百万円増加、営業利益は50百万円減少、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3百万円増加しています。詳しくは決算短信注記をご参照下さい。



引き続き世界経済の回復に伴う印刷需要や設備投資の増加に加え、為替の円安効果もあり、1Qと比べ伸び率は鈍化したものの、2Qも業績が大幅に伸長

■2Q売上高

- 前年同期比 1,748百万円の増収(+13%、内為替影響 +391百万円)、予想比上振れ、一昨年同期比 +5%
- 部品・原材料不足や輸送LT長期化の影響を受けたものの、市場の需要回復の機を捉え、既存製品の販売数量増加に加え、JV/UJV100-160やTS100-1600等の新製品も増収に寄与、保守部品やインクも伸長
- SG市場向けは経済活動の活発化に伴う設備投資及び印刷需要の増加により +16%、予想比上振れ
- IP市場向けは工業製品やノベルティグッズ等の需要増加により +18%、予想比上振れ
- TA市場向けはアパレル製品の需要回復で +33%、予想比は下振れ

■2Q営業利益

- 輸送費・原材料高騰の影響を受ける中、売上原価が、徹底した在庫削減のための費用や、コロナ禍影響による工場操業停止に伴う費用を計上した前年同期と比較し大幅改善。販管費は、顧客での製品稼働率上昇や新製品立上げに伴う製品補修費、計画休業解除に伴う人件費、「Mimaki V10」戦略に沿った新製品開発の研究開発費等が増加も、全体では増収効果・為替の円安効果もあり前年同期比 1,706百万円の増益(内為替影響 +84百万円)

■2Q末バランスシート

- 重点指標のCCC*は、機会損失の回避を最優先とし、輸送LT長期化や部品・原材料不足に対応した在庫確保のオペレーションに切り替えたことにより、6/末比では増加

2020/9/末:4.52月→12/末:3.70月→2021/3/末:3.60月→6/末:4.22月/→9/末:4.35月

*CCC : Cash Conversion Cycle、今期から破産更生債権を含めたため、前期開示値から数値が変化

営業利益増減要因 (21/3期 上期 vs 22/3期 上期)



(単位：百万円)

【通貨別影響額】

USD/	106.92円 → 109.80円	+92
EUR/	121.29円 → 130.89円	+341
CNY/	15.26円 → 16.99円	△200
AUD/	73.28円 → 82.62円	+67
TRY/	15.22円 → 12.98円	△54
その他 (BRL、IDR、INR等)		+62
	合計	+308

【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高 979 - 売上原価 429 - 販管費 241 = 営業利益 308

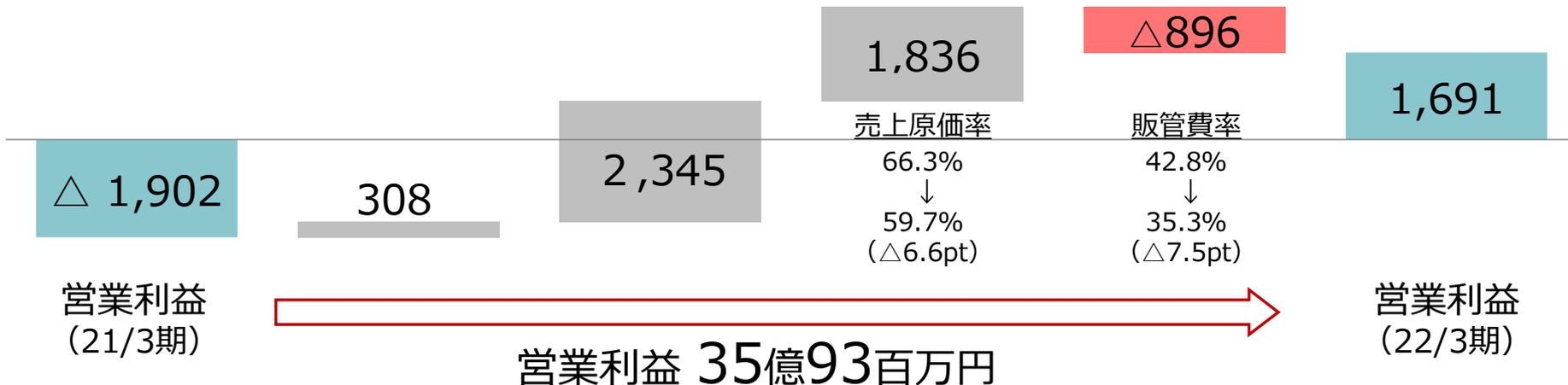
売上原価率増減の要因

21/3期上期原価率(66.3%)には構造改革に伴う原価率悪化分(1,401百万円:6.7%)が含まれるため、これを除く実態の原価率(為替レートを22/3期上期と同一とした場合:58.6%)との比較では、22/3期上期実績は1.1pt悪化 ⇒ 輸送費、部品・原材料高騰の影響

販管費増減の要因

製品補修費	355
研究開発費	310
人件費	229
減価償却費	△99
販促費	97
交通費	95
その他	△90
合計	896

- ① 為替影響 ② 売上高増減影響 ③ 売上原価率増減影響 ④ 販管費増減影響

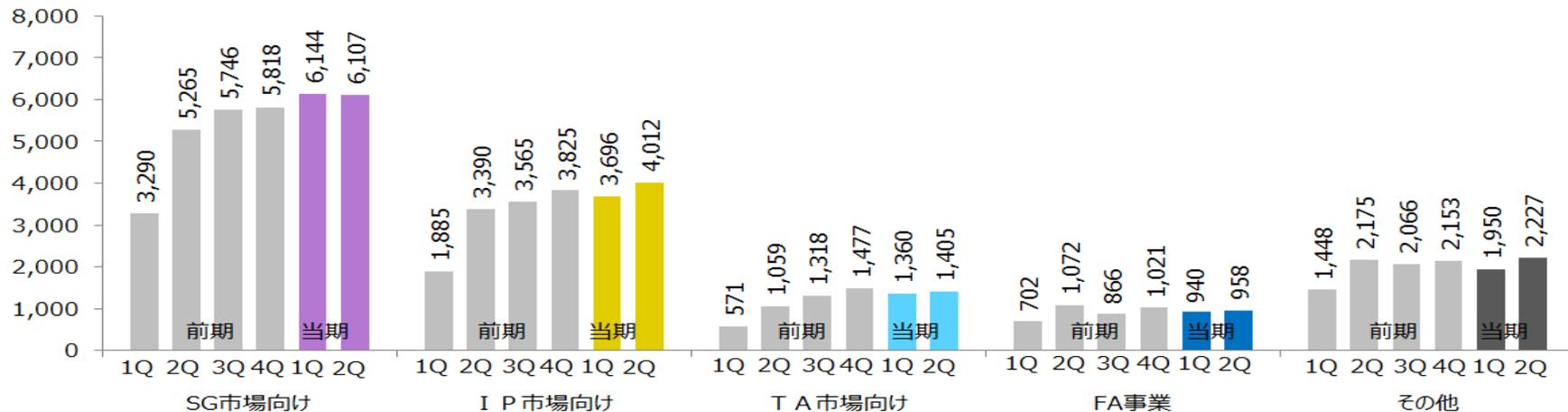


市場別売上高 (2022年3月期 2Q・上期実績)



(単位：百万円)	2021年3月期			
	2Q実績	構成比率	上期実績	構成比率
SG市場向け	5,265	40.6%	8,556	41.0%
IP市場向け	3,390	26.2%	5,275	25.3%
TA市場向け	1,059	8.2%	1,631	7.8%
FA事業	1,072	8.3%	1,775	8.5%
その他	2,175	16.8%	3,624	17.4%
合計	12,963	100.0%	20,862	100.0%

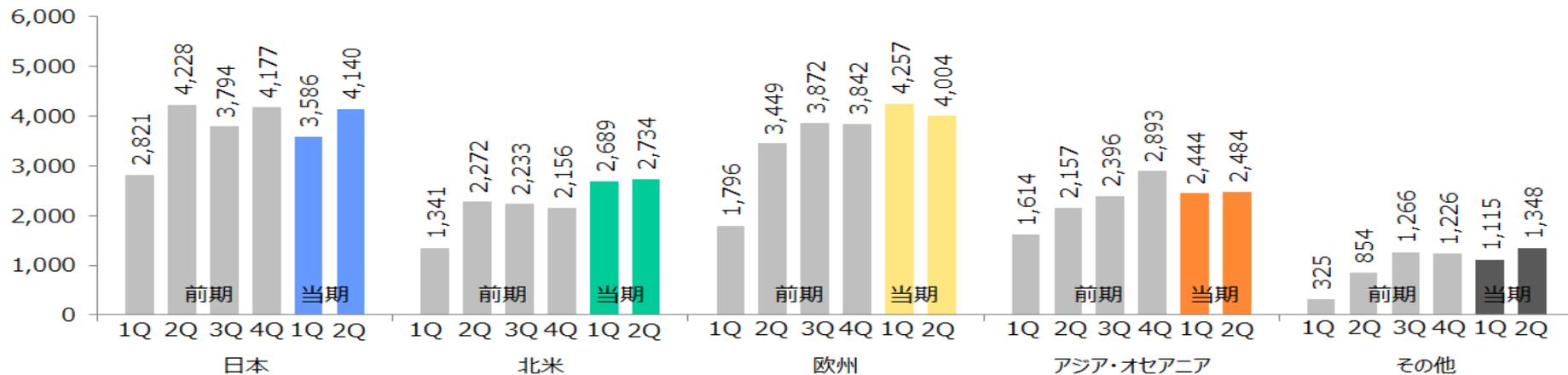
2Q実績	構成比率	上期実績	構成比率	前年同期比増減		
				金額	率	率(除為替)
				6,107	41.5%	12,252
4,012	27.3%	7,709	26.8%	2,433	46.1%	41.2%
1,405	9.6%	2,766	9.6%	1,135	69.6%	61.9%
958	6.5%	1,898	6.6%	122	6.9%	7.0%
2,227	15.1%	4,178	14.5%	553	15.3%	-
14,711	100.0%	28,803	100.0%	7,941	38.1%	33.4%



エリア別売上高 (2022年3月期 2Q・上期実績)



(単位：百万円)	2021年3月期				2022年3月期					
	2Q実績	構成比率	上期実績	構成比率	2Q実績	構成比率	上期実績	構成比率	前年同期比増減	
									金額	率
■ 日 本	4,228	32.6%	7,050	33.8%	4,140	28.1%	7,726	26.8%	676	9.6%
■ 北 米	2,272	17.5%	3,614	17.3%	2,734	18.6%	5,423	18.8%	1,809	50.1%
(現地通貨 / \$)	21.3M	-	33.8M	-	24.8M	-	49.3M	-	15.5M	46.1%
■ 欧 州	3,449	26.6%	5,246	25.1%	4,004	27.2%	8,261	28.7%	3,015	57.5%
(現地通貨 / €)	28.0M	-	43.2M	-	30.8M	-	63.1M	-	19.8M	45.9%
■ アジア・オセアニア	2,157	16.6%	3,772	18.1%	2,484	16.9%	4,929	17.1%	1,157	30.7%
■ そ の 他	854	6.6%	1,180	5.7%	1,348	9.2%	2,463	8.6%	1,283	108.7%
合 計	12,963	100.0%	20,862	100.0%	14,711	100.0%	28,803	100.0%	7,941	38.1%



要約貸借対照表 (2021年9月30日現在)

(単位：百万円)		2021年 3月31日	2021年 9月30日	増減額	増減率
資産の部	現金及び預金	10,839	9,117	△ 1,722	△15.9%
	受取手形及び売掛金(※1)	8,363	8,453	90	1.1%
	たな卸資産	17,919	20,732	2,812	15.7%
	その他流動資産	2,040	2,158	118	5.8%
	流動資産合計	39,163	40,461	1,298	3.3%
	有形固定資産	9,288	10,080	791	8.5%
	無形固定資産	491	423	△ 68	△13.8%
	投資その他の資産	1,895	2,375	479	25.3%
固定資産合計	11,675	12,879	1,203	10.3%	
合計	50,838	53,341	2,502	4.9%	
負債・純資産の部	支払手形及び買掛金(※1)	9,772	8,521	△ 1,250	△12.8%
	短期借入金(※2)	8,119	11,333	3,214	39.6%
	その他流動負債	7,077	7,455	377	5.3%
	流動負債合計	24,969	27,309	2,340	9.4%
	長期借入金	8,913	6,911	△ 2,001	△22.5%
	その他固定負債	742	1,440	697	93.9%
	固定負債合計	9,656	8,351	△ 1,304	△13.5%
	負債合計	34,625	35,661	1,036	3.0%
純資産合計	16,213	17,679	1,465	9.0%	
合計	50,838	53,341	2,502	4.9%	

❖ 資産の部 +2,502

- ・ **流動資産 (+1,298)**
→原材料及び貯蔵品並びに商品及び製品の増加等
- ・ **有形固定資産 (+791)**
→リース資産の増加等
- ・ **無形固定資産 (△68)**
→ソフトウェアの償却等

❖ 負債の部 +1,036

- ・ **流動負債 (+2,340)**
→支払手形及び買掛金 (△647)
電子記録債務 (△603)
→短期借入金 (+3,214)
- ・ **固定負債 (△1,304)**
→長期借入金 (△2,001)
→リース債務 (+684)

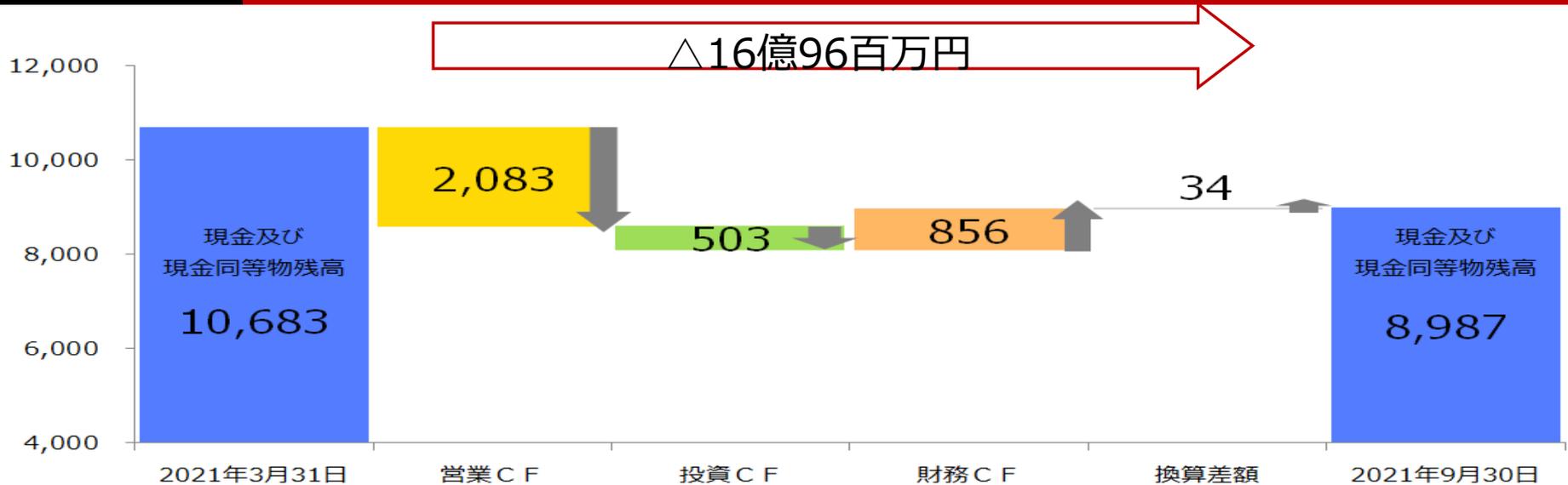
❖ 純資産の部 +1,465

- 利益剰余金 (+1,337)

(※1) 電子記録債権、電子記録債務を含む

(※2) 1年内返済予定長期借入金を含む

キャッシュ・フロー (2022年3月期 上期)



営業キャッシュ・フローの状況

EBITDA (※)	2,690
運転資金増加	△ 4,407
税金、利払等	△ 366
合計	△ 2,083

投資キャッシュ・フローの状況

固定資産の取得	△ 564
固定資産の売却	40
その他	20
合計	△ 503

財務キャッシュ・フローの状況

短・長期借入金収支	1,156
配当金支払	△ 207
その他	△ 92
合計	856

(※) 利払前、税払前、償却前の営業利益

2022年3月期 連結業績

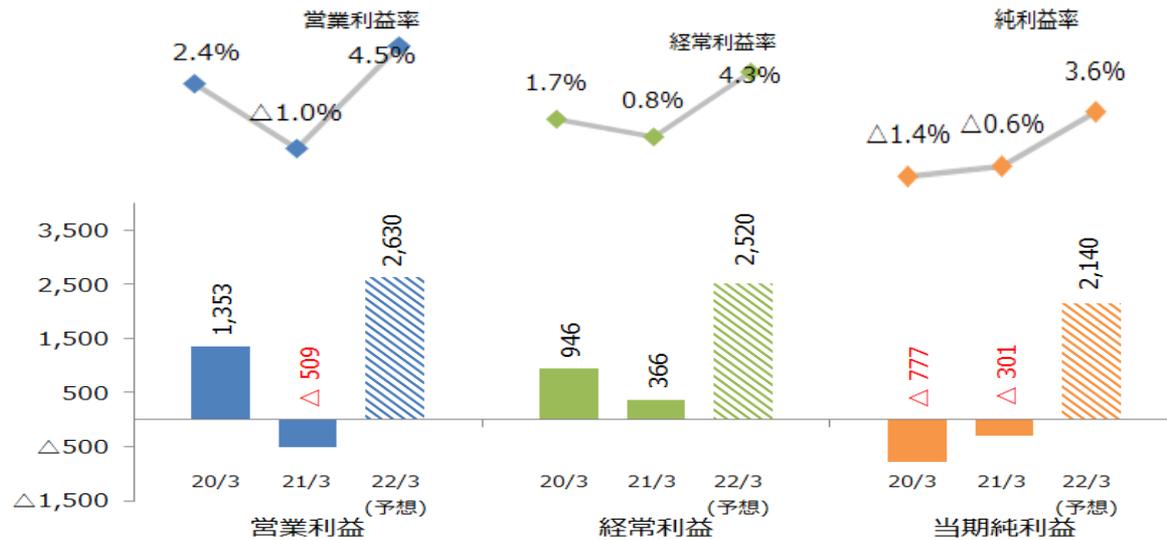
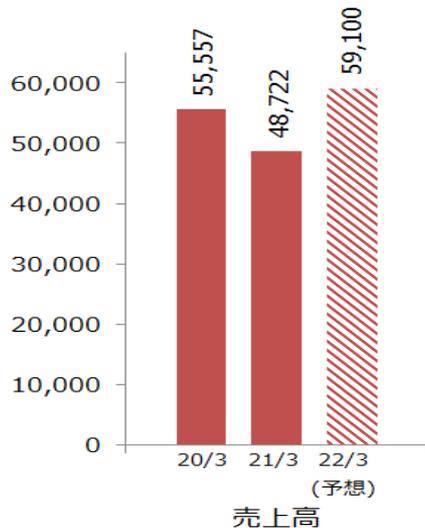
- ❖ 第2四半期・上期実績
- ❖ 通期予想

連結業績予想ハイライト (2022年3月期)



		2021年3月期	
(単位：百万円)		通期実績	売上高比率
■	売上高	48,722	-
■	営業利益	△ 509	△1.0%
■	経常利益	366	0.8%
■	親会社株主に帰属する当期純利益	△ 301	△0.6%
為替レート	米ドル	106.06円	-
(期中平均)	ユーロ	123.70円	-

2022年3月期											
上期実績	前回予想比増減額	下期予想(修正)	前年同期比増減率	前回予想比増減額	通期予想(修正)	売上高比率	前期比増減			前回予想比増減額	
							金額	率	率(除為替)		
28,803	1,403	30,296	8.7%	896	59,100	-	10,377	21.3%	19.6%	2,300	
1,691	671	938	△32.6%	△ 471	2,630	4.5%	3,139	-	-	200	
1,701	771	818	△52.9%	△ 391	2,520	4.3%	2,153	587.8%	-	380	
1,564	814	575	△50.1%	△ 284	2,140	3.6%	2,441	-	-	530	
109.80円	2.56円	105.00円	△0.2%	0.00円	107.40円	-	1.34円	1.3%	-	1.28円	
130.89円	2.42円	125.00円	△0.9%	0.00円	127.95円	-	4.25円	3.4%	-	1.21円	



- 下期の連結業績は、引き続き世界経済の回復基調が継続する見通しであり、当社の販売市場においても需要の増加を見込む
- 一方で、世界的な部品・原材料不足や物流の混乱による影響は、下期を通じて一層厳しさを増すものと想定
- 当社においても、需要に対応するための製品供給面での部材調達難による制約や、輸送リードタイムの長期化等により、売上高への影響が見込まれるとともに、輸送費及び部品・原材料の高騰に伴う売上原価率の悪化等により、利益への影響が見込まれる
- 以上を踏まえ連結業績予想を見直した結果、下期及び通期連結業績予想を修正
- 「Mimaki V10」で定めた重点施策に取り組み、業績回復の足取りを確かなものとする
 - 新製品の市場投入と販売拡大
 - 市場環境や顧客ニーズの急激な変化を見据えた事業展開
 - 収益性向上に向けた基盤構築

営業利益増減要因

(21/3期 実績 vs 22/3期 計画)



(単位：百万円)

【通貨別影響額】

USD / 106.06円 → 107.40円	+93
EUR / 123.70円 → 127.95円	+347
CNY / 15.67円 → 16.75円	△198
AUD / 76.17円 → 79.81円	+49
TRY / 14.51円 → 13.59円	△43
その他 (BRL、IDR等)	+21
合計	270

<為替感応度 (1円/年)>

	売上高	営業利益
USD	126	69
EUR	122	81

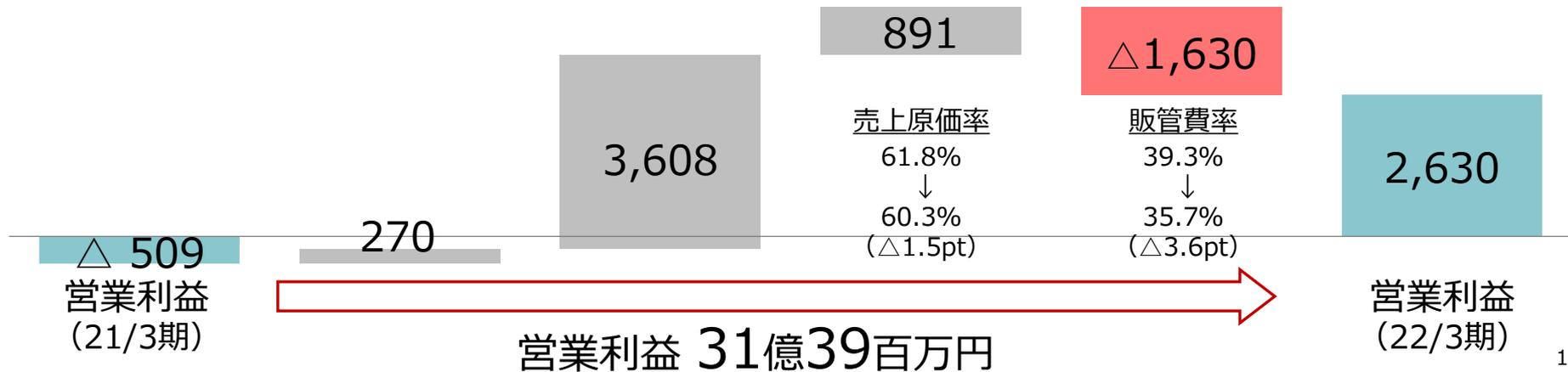
売上原価率増減の要因

21/3期の原価率(61.8%)には同上期構造改革に伴う原価率悪化分(1,401百万円: 2.9%)が含まれるため、これを除く実態の原価率(為替レートを22/3期予想レートと同一とした場合: 58.7%)との比較では、22/3期は1.6ptの悪化を見込む
⇒ 輸送費、部品・原材料高騰の影響等

【売上・原価・営業利益への為替影響】

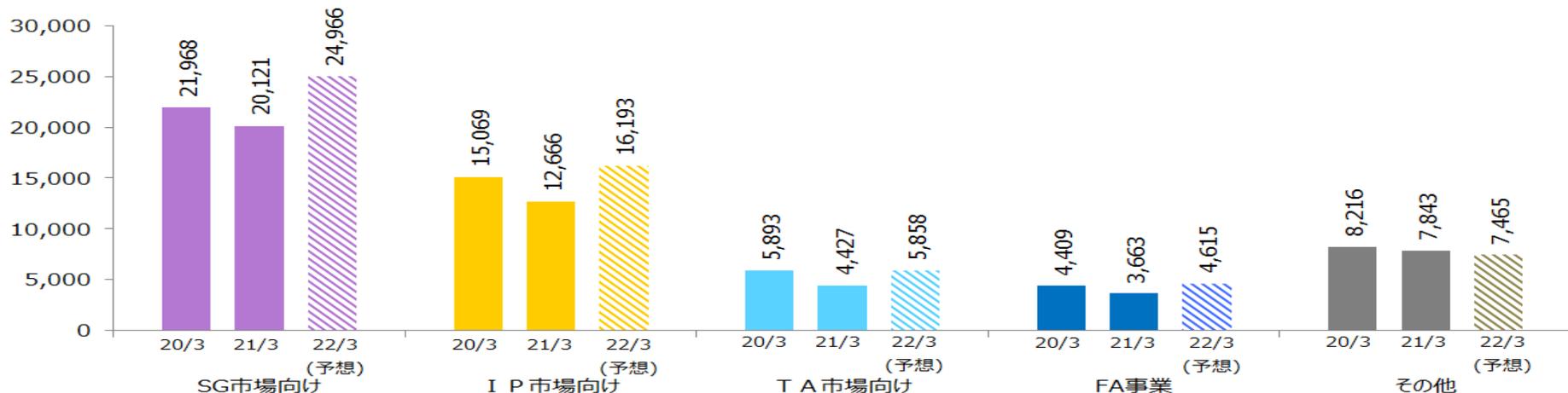
売上高932 - 売上原価444 - 販管費216 = 営業利益270

- ①為替影響 ②売上高増減影響 ③売上原価率増減影響 ④販管費増減影響



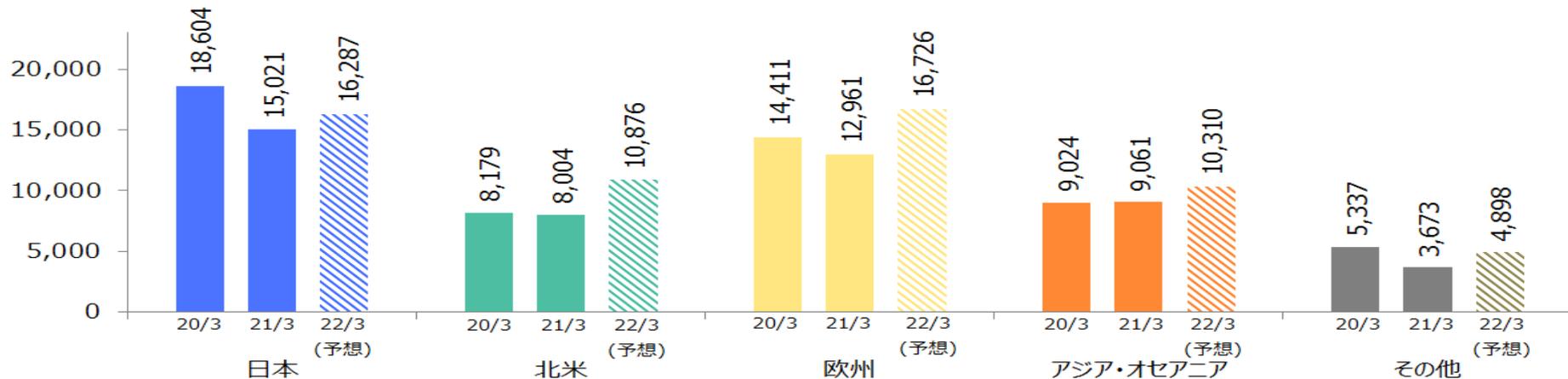
市場別売上高予想 (2022年3月期)

(単位: 百万円)	2021年3月期		2022年3月期										
	通期実績	構成比率	上期実績	前回予想比 増減額	下期予想 (修正)	前年同期比 増減率	前回予想比 増減額	通期予想 (修正)	前期比増減			構成比率	前回予想比 増減額
									金額	率	率(除為替)		
SG市場向け	20,121	41.3%	12,252	473	12,713	9.9%	962	24,966	4,845	24.1%	22.1%	42.2%	1,436
IP市場向け	12,666	26.0%	7,709	623	8,484	14.8%	97	16,193	3,526	27.8%	26.3%	27.4%	720
TA市場向け	4,427	9.1%	2,766	△ 90	3,092	10.6%	△ 343	5,858	1,430	32.3%	29.6%	9.9%	△ 433
FA事業	3,663	7.5%	1,898	△ 157	2,717	44.0%	287	4,615	952	26.0%	26.1%	7.8%	129
その他	7,843	16.1%	4,178	554	3,287	△22.1%	△ 108	7,465	△ 378	△4.8%	-	12.6%	446
合計	48,722	100.0%	28,803	1,403	30,296	8.7%	896	59,100	10,377	21.3%	19.6%	100.0%	2,300



エリア別売上高予想 (2022年3月期)

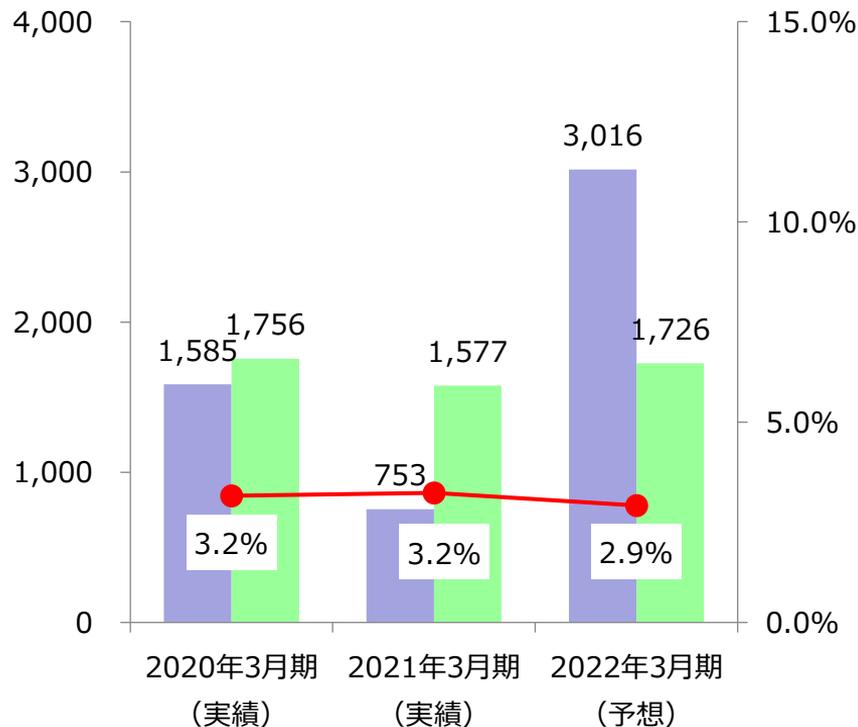
(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期									
	通期実績	構成比率	上期実績	前回予想比 増減額	下期予想 (修正)	前年同期比 増減率	前回予想比 増減額	通期予想 (修正)	前期比増減		構成比率	前回予想比 増減額
									金額	率		
■ 日本	15,021	30.8%	7,726	△ 62	8,561	7.4%	△ 34	16,287	1,265	8.4%	27.6%	△ 97
■ 北米 (現地通貨 / \$)	8,004	16.4%	5,423	583	5,452	24.2%	783	10,876	2,871	35.9%	18.4%	1,367
■ 欧州 (現地通貨 / €)	12,961	26.6%	49.3M	4.2M	51.8M	24.5%	7.4M	101.2M	25.7M	34.2%	-	11.6M
■ アジア・オセアニア	9,061	18.6%	8,261	760	8,465	9.7%	210	16,726	3,764	29.0%	28.3%	970
■ その他	3,673	7.5%	63.1M	4.8M	67.6M	9.9%	1.7M	130.7M	25.9M	24.8%	-	6.4M
合計	48,722	100.0%	4,929	△ 97	5,381	1.7%	△ 233	10,310	1,248	13.8%	17.4%	△ 330
			2,463	220	2,435	△ 2.3%	170	4,898	1,225	33.4%	8.3%	390
			28,803	1,403	30,296	8.7%	896	59,100	10,377	21.3%	100.0%	2,300



設備投資、減価償却、開発投資予想

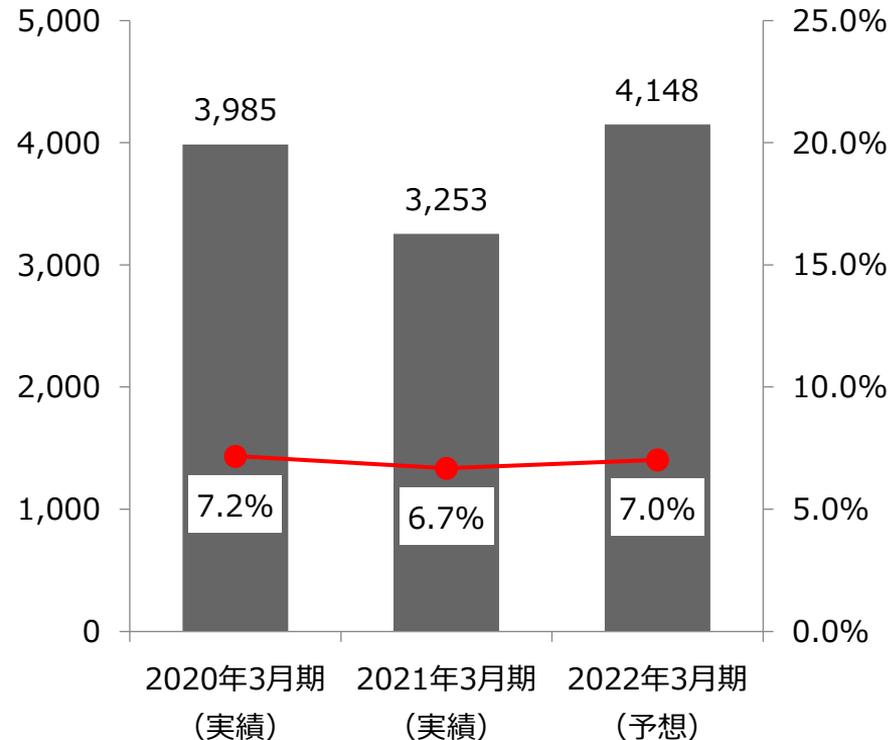
(百万円)

■ 設備投資 ■ 減価償却費 ● 減価償却費対売上比率



(百万円)

■ 開発投資 ● 対売上比率



※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

株主還元

株主還元の方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

■ 2021年3月期 期末：7.5円に復配

2021年3月期中間期は無配としたものの、同下期の期間損益が黒字転換したこと、今後の事業見通し及び株主還元方針を総合的に勘案し、期末配当は7.5円に復配

■ 2022年3月期 中間：7.5円、 期末(予想)：7.5円

当期の事業見通し及び安定的・継続的な株主還元方針に基づき、年15.0円配当を予想



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものであります

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております（分割前の配当金は訴求修正して表示）

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

I R 部

TEL (本社) 0268(80)0058

TEL (東京) 03(6362)4290

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。